

## 産婦人科 災害時アクションカード (産科クリニック用：分娩取扱い施設)

➤ 災害が起きた場合、以下を速やかに行いましょう。

- 自施設の患者の安否確認を行う。
- 施設損壊状況・ライフラインの確認を行う。
- なるべく早急に日産婦学会 大規模災害対策情報システムへアクセスし、自施設の被災状況を入力する。
- システムへの入力施設長、もしくは施設長から依頼された医師・看護師・助産師・コメディカルが代行して入力する。

### ✓ システム入力に関する留意点


- \* 自施設が被災の有無にかかわらず自県で地震(震度6弱以上)・豪雨水害・台風災害などが起きた場合にも入力する。
- \* 平時からシステム入力を自施設で担当者(医師・看護師・助産師)を複数名決め、定期的に入力訓練を実施しましょう。
- \* 本システムへの入力は、産科クリニックの安全確認となり、いち早く支援側へ(場合により住民にも)情報提供されます。必ずご入力をお願いします。

(パソコンやiphoneなどスマートフォンからも入力可能で  
所要時間は約1～2分です)

## 産婦人科 災害時アクションカード (産科クリニック用：分娩取扱い施設)

\* システムの入りは

日本産科婦人科学会HP (<http://www.jsog.or.jp/>)  
の会員・医療関係者のページの下方のバナーにあります。  
施設IDをお持ちの方入口よりお進みください。

施設IDを お持ちの 方入口	URL: <a href="https://jsog-disaster.kenkyuukai.jp/login_jspm.asp">https://jsog-disaster.kenkyuukai.jp/ login_jspm.asp</a>	QRコード 
----------------------	--	--

システムに入るためには、ログインID, 名前(施設名)が必要です。

各施設に振り分けられたID・名前(施設名)が利用できます。  
(もしくは、日産婦学会・e医学会のID・パスワードからも入れます。  
その際は“会員の方入口”よりお進みください。)

有事に備え各施設に配布された施設のID、名前(施設名)を  
以下に記載しておきましょう。

大規模災害対策情報システム用に施設に振り分けられた  
施設ID・名前(施設名)

ID番号:

名前:

## 産婦人科 災害時アクションカード (産科クリニック用：分娩取扱い施設)

### ✓ システム入力の際のチェックリスト

- 施設情報入力より自施設を検索し、情報を入力する。
- 項目：入力時の状況は「災害時」を選択する。
- 項目：施設のカテゴリは「被災地の施設」を選択する。
- 自施設から支援側へ特別のメッセージがあれば、「自由記述欄」に記載をお願いします。
- 情報は毎日定時(例：朝9時)での入力更新をお願いします。

### ➤ 自施設の患者の母体搬送が必要な場合

- まずは平時から搬送を依頼している基幹施設へ連絡し依頼する。
- 地域の基幹施設へ連絡がつかない場合には、県庁の災害対策本部(医療調整本部)にいる産婦人科の災害時搬送コーディネーターである災害時小児周産期リエゾンに搬送調整を依頼する。

### ➤ 支援物資が必要な場合

- 県内の大学病院産婦人科など基幹施設に連絡する。  
(基幹施設からリエゾンにコーディネートを一括依頼します)

## 産婦人科 災害時アクションカード (産科クリニック用：分娩取扱い施設)

- ✓ 地域の災害時小児周産期リエゾンのメンバーを把握しておきましょう。  
(メンバーの名簿は各県庁の担当部署で確認可能です)

### 災害時小児周産期リエゾン

氏名(所属)

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.

### 地域の産婦人科基幹施設連絡先

施設名：

電話番号：

施設名：

電話番号：